

「話す」「書く」「読む」「聴く」「考える」5技能が身につく英語塾

J PREP

齊藤塾

目指すなら世界の頂点



日本の将来、世界の将来を担う皆さんへ。



代表プロフィール 斉藤 淳 (さいとう じゅん)

J PREP 斉藤塾代表、元イエール大学政治学科助教授。1969年山形県酒田市生まれ。上智大学外国語学部英語学科卒業(1993年)、イエール大学大学院政治学専攻博士課程修了、Ph.D.(2006年)。ウェズリアン大学客員助教授(2006-07年)、フランクリン&マーシャル大学助教授(2007-08年)を経てイエール大学助教授(2008-12年)、高麗大学客員助教授(2009-11年)を歴任、2012年4月に帰国、英語塾代表として起業。イエール大学助教授時代はセイブルック寮の舎監も務め、3年間にわたって学生と寝食を共に過ごす。これまで各大学で「日本政治」「国際政治学入門」「東アジアの国際関係」などの授業を英語で担当した他、衆議院議員(2002-03年、山形4区)をつとめる。

研究者としての専門分野は日本政治、比較政治経済学。主著『自民党長期政権の政治経済学』により第54回日経・経済図書文化賞(2011年)、第2回政策分析ネットワーク賞本賞(2012年)をそれぞれ受賞。2014年に発売された『世界の非ネイティブエリートがやっている英語勉強法』と『10歳から身につく問い、考え、表現する力』がベストセラーとなる。2015年度は、NHKラジオ『基礎英語2』で毎月、英作文指導の連載を担当。2017年12月に『世界最高の子ども英語』を刊行。

経済、社会が世界化するなかで、英語が国際語としての地位をますます強固にしています。これは好むと好まざるとにかかわらず、これから受ける英語教育の善し悪しが、皆さんの将来を左右してしまうことを意味します。中高一貫制校の受験が終わって、目指すは医学部や東大と考える方も多いでしょう。しかし、医師として、官界や経済界のリーダーとして活躍するキャリアを考えるのであれば、なおさら世界に通用する英語力を持っているかどうか、決定的に重要になってきます。医師や大学教員として研究の最先端に立った場合、その成果を発表する言語はほとんど全て英語という時代になっています。官界で活躍する場合、どの省庁に就職したとしても国際交渉の最前線で英語を駆使する必要があります。ビジネスの現場に立っても、少子高齢化の影響で縮小が続けることが予想される国内市場だけではなく、広く世界にマーケットを求めているかなければならない時代です。

私たちは、とすれば今日の延長線上に未来があり、私たちが今幸せだと考える価値観が、未来の価値観とほぼ一致すると考えがちです。また、そうあって欲しいと思うのが自己保存本能です。しかし社会の変化は、我々の想像を超えるところで起こっています。

J PREP(ジェイブレップ) 斉藤塾とは

J PREPでは、大学受験や留学に必要な不可欠な英語力を効率的に身につけるカリキュラムを提供しています。話す、書く、聴く、読む、これらのスキルを総合的に習得するだけでなく、論理的に考え、表現する作業を繰り返すことによって、言葉そのものへの理解を深めていきます。単に正解を覚えるだけの勉強ではなく、考え抜き、表現することで、異なる意見や価値観を持つものと話し合うことを通じて学ぶ、真に世界に通じる学問を希求する生徒に開かれた場、これがJ PREPです。

国内難関大学、医学部受験どちらも万全です

国内大学入試でTOEFL型4技能試験の導入が進んでいます。

- TOEFL 型試験では、話す力、書く力が得点に直結します。
- J PREP では、日本の中学高校に通いながら、TOEFL iBT110点 SAT1450点を目指す指導をします。
- 海外一流大学留学に必要な英語力を身につければ、東大をはじめとする国内難関大学の入試英語で満点を狙うことが十分可能です。
- 国内難関大学を受験する場合でも、最初から留学を意識した英語学習が効果的です。
- 2015年入試から、多くの大学でスピーキングを含めたTOEFL 型試験が始まりました。大学入学後の留学、就職後の留学・海外勤務を考えるなら、最初から本物の英語を学んでおくべきです。
- 国内大学受験カリキュラムは、国内難関大学受験指導・医学部受験指導で豊富な経験を持つベテラン講師陣が担当します。
- 海外一流大学を目指す生徒には、早い時期から受験戦略のアドバイジングを提供します。単なるテスト対策ではなく、学問とは何か、今後世界はどうなるのか、どう生きるか、共に考える機会を提供します。

少人数で切磋琢磨、個別指導よりもきめ細かく

- 全クラスが20人以下：英語を母語とする講師と日本語を母語とする講師が共同で授業を担当します。生徒一人一人の発音矯正、英語論文添削など丁寧な指導をするために少人数制を採用しています。
- きめ細やかな発音指導：Level 1からLevel 4まで音声指導を行います。自宅で行うスピーキング課題を専用アプリを用いて提出し、それに対して、発音矯正指導のフィードバックが行われます。
- 英語で発言、議論する：授業では自発的に発言し、論理的に議論することが求められます。受け身で講義を聴くだけの授業スタイルとは違います。これにより、ディスカッション、プレゼンテーション能力が身につきます。また、導入されつつあるTOEFL型の国内大学入試のスピーキングテストで高得点が狙えます。
- 「書く」力を鍛える：Level 2以上のコースでは、授業で英作文指導を行っています。旧来の受験用和文英訳ではなく、論理的な英文を簡潔にまとめるための作法、日本語とは異なる論理展開の方法を丁寧に指導します。これにより、TOEFL型試験に移行する国内大学入試のライティングでも高得点が狙えます。

優秀な講師陣

- 日本語母語講師はほぼ全員、英米の大学・大学院に留学した経験があります。博士号取得者、TOEFLやTOEICでの満点取得者も多数在籍しています。
- 英語母語講師は、厳しい審査基準を通過した、経験豊富で優秀かつ意欲的な人材を採用しています。J PREPの講師陣は、良い授業を行うための教授法を日々研究しています。

J PREPは、世界に通じる英語を指導します。

J PREP カリキュラム

コア・カリキュラムおよび国内大学受験カリキュラムの授業は、英語を母語にする講師と、日本語母語でなおかつ英語を外国語として習得した講師がチーム・ティーチングで指導します。J PREP Scholars は、オールイングリッシュプログラムです。コース受講には、英検準1級程度の英語力に到達している必要があります。

	4技能型学習目標	J PREP コア・カリキュラム		J PREP Scholars		国内大学受験カリキュラム (学年別)	入試対策学習目標
		集中コース	標準コース	留学準備コース	教養コース		
Level 6	海外大学での学習に十分な英語力 CEFR ^(注1) C2, SAT 1450 ^(注2) TOEFL iBT 110			SA690 SA680 SA650		EA690・EA680 EA670 (高3生対象)	国内最難関大学・医学部合格 国内難関大学合格
Level 5	実践的な英語力 CEFR C1, TOEFL iBT 90			SA580 SA550 SA500	英文学・II ミクロ経済学 サイエンス	EA580 EA570 (主として高2生対象)	国内難関大学・医学部 合格のための基礎力養成
Level 4	英検準1級 ^(注3) → 1級 CEFR B2 – C1	ES450					
Level 3	英検2級 → 準1級 CEFR B1 – B2	ES360 ES350					
Level 2	英検3級 → 2級 CEFR A2 – B1	ES250	ES220 ES210				
Level 1	英語力ゼロ → 英検3級・準2級 CEFR A1 – A2	ES150	ES120 ES110				

注1. CEFR はヨーロッパ言語共通参照枠のことで、国際的に広く普及している外国語習得の共通ガイドラインです。
注2. SAT 1450 点はアイビーリーグ大学受験に必要な点数の目安です。
注3. 英検準1級は、国内難関大学入試とほぼ同等の難易度です。

J PREPのコア・カリキュラム (Level 1 – 4) は授業予習中心の集中コースと、授業内演習中心の標準コースに分かれています。集中コースでは週4時間程度、標準コースでは週1時間程度、授業外学習に取り組むことが前提となります。

集中コース(Intensive Track)

週4時間程度、授業外学習に取り組むことを前提としています。学習経験ゼロからスタートし、3年間でCEFR B2(英検準1級程度)到達を目指します。

標準コース(Standard Track)

週1時間程度、授業外学習に取り組むことを前提としています。学習経験ゼロからスタートし、5年間でCEFR B2(英検準1級程度)到達を目指します。

Level 1: 主として小学5年生～中学1年生が対象。標準コースはES110(小学生対象)、ES120(中学生対象)、集中コースはES150があります。無試験で入塾可能ですので、生徒本人の説明会参加は任意です。

Level 2 – 4: 主として中学2年生から高校1年生が対象。中学2年生以上、またLevel 2以上のコースを受講希望の場合、説明会にて、レベル認定テストを受験してコースを決定していただきます。

Level 5 – 6: 主として高校2年生から高校3年生が対象。海外大学、国内大学の双方に対応した受験準備カリキュラムを提供します。説明会にて、レベル認定テストを受験してコースを決定していただきます。

無駄な努力はさせません。効率良く、考え抜かれたカリキュラムで早く実力が伸びます。

- 第二言語習得法の知見を最大限に活かしたカリキュラムです。 ○やみくもにネイティブと会話すれば英語力が伸びるわけではありません。
- ひたすら辞書を引きまくる、ひたすら和訳する、いずれも無駄な努力の筆頭です。
- 当塾では、動画教材を効果的に活用し、文法と語彙を文脈とセットで、音声と共に覚えていく指導法を取り入れます。

受験に必要な学力を早期に固め、さらに上の実力を志す生徒のための英語塾です。

- 応用言語学の成果を取り入れ、学校の定期テストや国内大学入試でも好成績を収めるための対策を徹底しています。
- 11回の授業に付き1回、塾内テストを実施し、成績優秀者を表彰しています。
- 毎回の授業で書き取りの小テスト、文法小テストを実施しています。 ○季節講習では文法や読解力を集中的に鍛えます。

J PREPの学習サポートシステム

J PREP VIDEO App(ビデオ発音練習アプリ)

生徒たちは、J PREPが独自開発した専用アプリを用いて、動画の視聴やスピーキングとリスニングの練習を行い、発音だけではなく重要な英文法、構文、単語・熟語を効率的に習得していきます。動画を利用した勉強法は文字だけの教材を使った従来の学習よりも、格段に効率良く、英語の総合力を高めることができます。



J PREP Library

生徒が自分の関心を深める形で本を選び読んでいくことは、読解力のみにとどまらず、全般的な英語力向上に不可欠です。J PREPでは渋谷校、自由が丘校ともにライブラリを設置し、難易度別に図書を配架しています。辞書を引かず読むことが出来る本を、徐々に難易度を上げながら大量に読み、自然な形で英語を理解する能力を獲得するためのお手伝いをしています。



丁寧な英作文指導

Level 2以上のコースでは、日本語とは異なる英文の構造を学び、論理的な文章を簡潔にまとめる作法を身につけます。これにより、今後TOEFL型に移行し、ライティングの力を問われるようになる国内大学入試でも高得点が狙えます。英語で論理的に考え、書くことは、日本語力が高める結果にもつながっていきます。



J PREP VOCAB App(語彙習得アプリ)

J PREPで学習する英単語がクイズ形式で出題されます。クイズに解答するたびに、知っている単語とあまり記憶に定着していない単語が判別されます。記憶に定着していない単語の方をより頻繁に出題することで、重要英単語を効率的かつ確実に習得することができます。



卒業生インタビュー

来学期も取りたい授業がたくさんあって、充実した日々を送っています

斉藤 このキャンパスで足立君とお話できて本当に嬉しいです。中学2年生で入塾した頃、私が直接教えていました。足立君はイェール大学でのサマーキャンプ1期生でもあります。最初の学期はどんな科目を履修していますか？

足立 今は4つのクラスをとっています。一つはライティングセミナーで、社会問題をコンピュータ・プログラムでモデル化する授業です。情報科学と政治学が融合した学問分野です。毎週、異なる社会問題のトピックを与えられて、そのモデルケースについての実験を行ってペーパーに書き、ディスカッションを行っています。

先週はスタンディングオベーションがどのように起こるのか、自発的にやっているようで周囲に影響されているという現象について取り上げました。



Carleton College

小規模教養大学(リベラル・アーツ・カレッジ)の最高峰の1つで、「最高の教養教育」をミッションに掲げる。ミネソタ州ノースフィールドに位置し、学生数は約2,000人。

斉藤 いわば人工社会を組み立ててシミュレーションをするわけですね。1990年代、私が博士課程で研究していたことを、今は学部で1年生が実習しているのですね、素晴らしいです。

足立 これが一番楽しいです。

斉藤 一方で社会を構成する個々の主体、それは消費者であったり、有権者であったり企業だったりするわけですが、この行動について理論的な基盤

を探究するためにはミクロ経済学が役に立ちますね。

足立 実際に今学期、ミクロ経済学も履修しています。J PREPでもScholars教養コースのTAを務めていたので、予備知識という意味でまだ余裕があります。受講生が10人しかいないので、授業中に実験をしたり、ディスカッションして答えを導くことが多く、プロセスが楽しいです。

斉藤 公式を当てはめて暗記する受験勉強型の作業に対して、経済学の授業は、どちらかというと、どうしてそうなるのかという仕組みを理解することを重視していますね。

足立 実際に公式の裏側にある仕組みがよくわかります。授業では、ディスカッションや実験など、集団授業だからこそできることを最大限活用するやり方です。授業内で出来ることと授業外で出来ることを完全に分けています。

斉藤 足立君はこれまで海外在住経験が全くなかったのですが、若干心配しながら見送ったのですが、全く杞憂だったようです。

足立 こちらに来て環境が全然変わったのが良かったです。テスト前だけ勉強することではなく、やっぱり自分で参加するタイプの学びが好きだったんだと思います。来学期も取りたい授業がたくさんあって、勉強に関しては本当に充実した日々を送っています。



足立 慎介さん

Shinsuke Adachi

サレジオ学院高等学校→
一橋大学→カールトン大学

諦めずに自分の進みたい道をよく考えて選ぶべきだと思います



村木 直斗さん

Naoto Muraki

東京都立校修館中等教育学校
→日本医科大学

斉藤 目標点が高かったんですね。村木君の場合、留学した卒業生が高2時点で取得していた点数を上回っていたので、奨学金を得て留学することも可能だったと思います。それでも、主体的に選び、自分で選んだ結果に責任を持って納得する形で進路を選択することが、大学で良い学びをするために一番大切なことだと思います。医学部で何を学んでいるか教えてください。

村木 私の大学では、本格的に医学を学ぶ前に医療現場に触れる機会があります。附属病院と市中病院の見学があり、附属病院では看護実習という形で、看護学生と一緒に回り、市中病院では医師の後ろで見学し、医療側の立場で医師の役割について考えさせられました。見学してみても、外来患者を診察する医師はコミュニケーションの取り方が本当に上手だということがわかりました。敬語を使って遠ざけるわけではなく、上手く患者の言いたいことを引き出しています。医師にとってコミュニケーション能力はとても重要なのだと実感しました。また、患者の声を聞きつつ、医師としてやるべきことはやるという芯の強さを感じました。

斉藤 実際に医学生として展望して、今後どんな道に進みたいと考えていますか？

村木 救急医療に代表されるように、臨床の現場で人の命に直接かわる仕事に憧れています。救急はとても大変な仕事ですが、医師をやるなら最前線という気持ちがあり、目指そうと思っています。険しい道になるかもしれませんが、医師の道は勉強をすればするほど技術が身についていくので、努力次第で乗り越えられると考えています。なにより、夢に向かって一歩踏み出すことが出来て良かったと思っています。

斉藤 人の命を預かる仕事ですから、覚悟がないと務まらないですね。とても強い意志を持って勉強しているのが分かります。一方で医師というキャリアを考えると、英語力があることがプラスになるかもしれませんね。

村木 相当プラスになると思います。試験では英語が出てくる場面が多く、学術論文を読むにしても英語です。英語力が無いと厳しいと思います。

斉藤 最後に後輩たちへのアドバイスをお願いします。

村木 最初を目指していた道が必ずしも正解とは限らないし、不正解でもないかもしれませんが、どの道を選んだとしても努力次第でどうにかなる可能性はあります。早めに諦めるのではなく、自分の進みたい道をよく考えて選ぶべきだと思います。また、どこを目指すにしても英語を伸ばしておいて損することは無いと思います。J PREPの凄いところは、斉藤先生や卒業生を始め、いろんな人がそれぞれの夢に向かって羽ばたいている人が多いことです。だからこそ、自分も夢を持つことができるうに、励みになると思います。やはり夢を見るということがとても大切ですね。

斉藤 夢は見ないと実現しないので、やはり夢を見ることから始めないといけないですよ。その夢を叶えられるように応援しています。

日本医科大学

開学140年を超える日本最古の私立医科大学。「済生救民」を建学の精神とし、学是を「克己殉公」、すなわち「我が身を捨てて、広く人々のために尽くす」こと、また「愛と研究心を有する質の高い医師と医学者の育成」を教育理念として掲げている。世界的な細菌学者である野口英世を始め、1万人を超える臨床医、医学研究者、医政従事者を輩出。

J PREP Global Leadership Program at Yale

イエール大学夏期研修

J PREPでは2016年以来、毎夏、米国コネティカット州にあるイエール大学において、グローバル・リーダーシップ・プログラムを開講しています。毎年塾生約10名が参加、13日間にわたる日程の中、イエール大学教授・講師陣の指導を受け、「世界で自分が果たすべき役割は何か」について議論を深めます。



出願要項

第4期J PREP グローバル・リーダーシップ・プログラムは、2019年7月下旬出発8月上旬帰国を予定しています。募集の詳細は、当塾ホームページにて2019年3月下旬に発表予定です。プログラム参加希望者は次の要件を満たす必要があります。

- (1) J PREP 斉藤塾に在籍する生徒であること。
- (2) プログラム開催時点で16歳以上であり、日本国内の高校に在籍する者であること。
- (3) TOEFL iBT 60点以上得点している、または英検2級以上を取得していること。

2018年 スケジュール

DAY1 7/27(Fri) 成田空港出発、同日ニューヨーク ニューアーク国際空港到着
コネティカット州ニューヘイブン市に専用車で移動
イエール大学Saybrook College寮に入寮

DAY2 オリエンテーション、キャンパス・ツアー
イーストロック公園ハイキング

DAY3 日米大学入試の違いについてのワークショップ
Yale Art Gallery
グループセッション、作文プログラム

DAY4 キャシー・マツウラ博士（ハーバード大学図書館）による講義
プレゼンテーション、作文プログラム

DAY5 キャシー・マツウラ博士（ハーバード大学図書館）による講義
プレゼンテーション、作文プログラム、Beinecke図書館ツアー
映画鑑賞

DAY6 フランシス・ローゼンブルース教授（政治学）による講義
ディスカッション、作文プログラム、東アジア図書館ツアー

DAY7 Yale Medical Library 訪問、
富田進教授（医学）による講義
ディスカッション、作文プログラム

DAY8 自然史博物館見学
イアン・ドーソン教授（生物学）による講義
ディスカッション、作文プログラム

DAY9 ギルフォード市で海水浴

DAY10 ニューヨーク観光

DAY11 作文提出、プレゼンテーション
フェアウェル・パーティ

DAY12 ニューアーク国際空港へ専用車で移動、
ニューアーク国際空港出発

DAY13 成田空港到着
8/8(Wed)

2019年度の日程は、2019年3月に概要を発表します。研修の日程や内容は変更になる可能性があります。

2018年 Guest Lecture 講師

フランシス・ローゼンブルース博士（イエール大学 政治学科教授）

富田 進博士（イエール大学 医学大学院教授）

イアン・ドーソン博士（イエール大学 生物学科講師）

キャシー・マツウラ博士（ハーバード大学 図書館）

参加者より

J PREPの入塾説明会で「That's why I chose Yale」を見た時、僕の琴線に触れ、以来、絶対行きたいと考えていたので、参加できて大変嬉しかったです。斉藤先生をはじめ、Yale大学の教授やJ PREPのネイティブの先生にマンツーマンで指導していただけたことは他のプログラムでは体験できない最高の環境でした。

今回のプログラムでは今後の人生や、今までの考え方を改めさせられました。僕は普段の学校やJ PREPでは失敗を恐れて自分がわかっていない時のみ発言していましたが、このプログラムはどんな授業（エッセイ発表やプレゼンテーション、ディスカッション）でも必ず質問しなくてはいけなかった、大変でした。ところが、どんなにつまらない事を聞いても周りの人は意見を汲み取ってくれたり、そこからまた疑問がわき、活発に討論することに楽しさを感じることができました。特に東日本大震災についてのプレゼンテーションは、事前に質問を予想したり、予想外の質問に戸惑った事もありましたが、やり終わった後はとてつもない達成感がありました。今後もこの能動的な姿勢を忘れずにいたいと思います。

言葉で伝えきれない程、濃い2週間を過ごしました。この経験は一生忘れません。海外留学は自分の1つの目標でもあるので、このプログラムで学んだことを日々意識し、日々精進したいと思います。

(2018年 ES580在籍)

本当に2週間もいたのか!? と思うほどにあっという間だった。全日程を通して退屈だと思ったことがほとんどなく、全てのプログラムが僕にとって新鮮だった。

レクチャーは、事前課題から漂う威圧感とは裏腹に、教授の方々は僕たちにわかるよう言葉を選んで丁寧に説明してくれた。最初の頃は自分の英語力に自信がなく質問を全くできなかったが、日に日に慣れ、最終的には2人の教授から、「Good question!」と言ってもらえた。特に、前々から楽しみにしていた医学のレクチャーは初めて知ることがたくさんあり、事前課題でわからなかった所も理解でき、本当に満足だった。

また、1日中勉強という日がほぼなく、「よく学び、よく遊ぶ」という集中力が切れがちな僕にとってはありがたすぎるくらいのスケジュールだった。海やニューヨークももちろん楽しかったが、個人的には事前にビデオで見ていたYale大学のキャンパスを生で見ることでできたことに感動した。

このプログラムを通して僕は様々な人の様々な考えを知ることができ、自分が目指す医学という道以外にもいろいろな分野に興味を持つことができた。この13日間を無駄にしないためにも自分から積極的に初めてのことに挑戦してみたいと思う。Thank you, J PREP!!

(2018年 ES580在籍)

受講生の声

Testimonials

J PREPは2012年にスタートした新しい塾です。今J PREPでは多くの生徒が、単なる試験対策を超えて、生涯を通じて財産となる英語力を獲得するためにがんばっています。大学合格実績にとどまらず、さまざまな形で成果が生徒の自信につながっています。

英語の引き出しがひとつひとつ増えている

最初は教科書やビデオ教材など使いこなせるのかな、3時間の授業は大丈夫かな、など不安もありましたが、毎週クラスに行くといくつものことをするのが分かり、質問などは先生に手を挙げて聞けば何でも教えてくれるので、不安やはずかしいなどという気持ちもなくなっていました。3時間のうち1時間は文法、もう1時間は単語の使い方や意味、あとはネイティブの先生とのクラスです。ネイティブの先生との時間はゲームなどもします。そのゲームは楽しいだけのゲームではなくて、ひとつひとつ英語の発音や表現の仕方まで、みんなが覚えられる様に先生も協力してくれます。

私がJ PREPに入ってからとても良かったと思うのは、私の中の英語の引き出しが地面からひとつひとつ増えてきている感じがすることです。

そして耳から聞いた単語のスペルが書けたり、シンプルな文章が自分で読めたりするのがとても面白くなってきたことです。

(立教女学院小学校5年/ES110在籍)

楽しみながら本場の英語に触れられる

J PREPには、色々な学校の子が来ています。みんな学校が違うので、沢山の友達ができたり、他校のことが知ることができたり、とても楽しいです。また、男の子も女の子もいるので、私のクラスはとてもにぎやかで、通っている学校とは雰囲気の違い、新鮮です。3時間は一見長そうですが、授業が面白いので、全然飽きません。J PREPは確かに進度は速く、難しいこともありませんが、大変だとは思ったことはありません。難しい文法も繰り返しテキストに沿って教えて下さるので、1回目で分からなくても、2回目で理解できるようになることが多いです。J PREPで習ったことを学校でまた学習することで、理解も深まり、定着していきます。ネイティブの先生の授業では、チームに分かれてゲームをしたり、とても盛り上がります。楽しみながら、本場の発音に触れられます。毎週提出のビデオ発音練習アプリなど家でも本場の発音を聞くことができ、細かく添削して下さいます。海外旅行へ行ったら、聞き取れる会話も多くありました。私はまだ話すことに戸惑ってしまうので、自分の意見をしっかり英語で述べられるようになりたいです。

(聖心女子学院中学校1年/ES120在籍)

英語で話すことを不安に思わなくなった

私は、もともと引っ込み思案なところがあるので、J PREPに入ってもちゃんとついていけるのか不安でした。最初は、自分の文法知識で、言いたいことをどのように表現すればよいのかわからず心配しましたが、ビデオでも授業でも先生が一つ一つ丁寧に教えて下さるので、英語で話すことを不安に思わなくなりました。クラスが積極的な雰囲気なので、自分もちゃんと参加しなくちゃ、という気持ちになり、英語に対して少しずつ自信がついてきていると思います。これからも勉強して、英語で言いたいことをもっと伝えられるようになっていきたいです。(雙葉中学校1年/ES150在籍)

英語との向き合い方がガラッと変わった

私は中1の3月からJ PREPに通い始めました。J PREPの授業を通して私は学んだことがあります。それは、英語の本当の面白さを知ったことです。これまでの私は、やらなければいけないからやるという、いわば義務的な感じで英語の勉強に取り組んでいました。しかしJ PREPに入塾してから英語との向き合い方がガラッと変わりました。その理由として、ただ英語を学ぶだけでなく英語を使って時事問題、環境や自然などについて様々な分野から英語を楽しむと共に、文法を勉強できたということが挙げられます。それと比例するように英語を勉強するのが楽しくなり、苦手としていた文章読解もこなせるようになりました。それはJ PREPで本場に近い英語を学ぶことができているからだと思っています。(立教女学院中学校2年/ES220在籍)



スピーキングスキルがめきめき上達

J PREPでは他の塾と違って英語を「話す」機会が格段に多いです。ネイティブの講師によるディスカッションの授業では、自分の意見をハッキリとさせて英語で周りに伝えるのを繰り返すことで、考えを表現するための語彙力や、とっさに英語の文章を考える瞬発力などが鍛えられています。さらに、iPadのビデオ発音練習アプリによる練習は、細かい発音練習や、絵の状況を短時間でできるだけ説明する練習など、スピーキングスキルがめきめき上達していきます。しかも練習の様子を録画・提出すれば、ネイティブの講師による発音のアドバイスが返ってくるので、正しい発音に直すことができます。さらに、英作文の書き方も毎週段階を追って学び、学期ごとに作文を提出すると、文法から内容まで添削してくれるので、「書く」能力も身に付きます。オリジナル教材以外は、全て英語圏で使われている教材で、解説や問題文も全て英語です。そのため、「a」と「the」の使い分けなど、ネイティブの微妙なニュアンスの違いまで学ぶことができます。

J PREPでは、外国に行っても通用するだけの英語力を身に付けることができます。(校蔭中学校2年/ES250在籍)

多くの練習を繰り返し着実に英語を身につけられる

書いて、話して、表現して。J PREP最大の魅力は、多くの練習を繰り返し、着実に英語を身につけられる環境だということです。毎週とても興味深い授業が行われます。例えば、ネイティブパートでは、世界で進行するグローバル化について自分の意見を述べたり、健康についての記事を読んだり、身近な話題から話を広げていくため飽きることなく勉強を続けることができます。文法のパートでは、日本語と英語の着眼点の違いを学んだり、発音から鍛え直したりと、新しい発見が毎週出てきます。

また、練習をたくさん行うため自分の実力が伸びていることを自分自身で確認できますし、勉強を続けていく上での大きな励みになります。勉強を継続し、自分の英語力をもっともっと伸ばしていきたいです。

(渋谷教育学園渋谷中学校2年/ES350在籍)

無駄なことはないので疑いなく取り組める

ES580の授業では、高いレベルの日本人講師、ネイティブ講師が、少人数授業で指導するので、他の塾では得ることができない、英語の重要なことや、面白さを教えていただけます。また、J PREPの学習は大変なこともありますが、全て無駄ではないことなので、疑いなく取り組みます。

(攻玉社高等学校2年/ES580在籍)

続けられたら達成感があると思うので楽しみ

J PREPに通い始めてから、学校での英語の成績も上がりました。宿題も多くて大変ではあるけれど、これを続けられたら達成感があると思うので楽しみです。(頤栄女子学院高等学校2年/ES580在籍)

クラスの雰囲気も良く、親しみやすい空気

高校3年の4月から、J PREPに通い始めたのですが、クラスの雰囲気も良く、親しみやすい空気が作り出されていて、授業中に質問などを自由に出来るので、毎回の授業で、上達を感じます。また、全員が机を囲んで座っているのもあって、今までの塾とは違って、楽しく受けられるので、とても良い環境です。(都立日比谷高等学校3年/ES680在籍)

良い先生、そして同じ目標を持った仲間がいる

良い塾の条件は、まず、よい先生、そして意外と重要なのが、レベルが高く、同じような目標を持った仲間がいることだと思う。そして、この塾はどちらも兼ね備えている。(開成高等学校3年/ES680在籍)

J PREP から世界へ!

J PREPで学んだ生徒は、中学、高校段階から、海外での教育機会を獲得し、羽ばたいています。
また毎年、日本国内のインターナショナルスクールに編入する生徒もいます。
J PREPでは、自分の進路、学び方を主体的に組み立てていく姿勢を重視しています。

J PREP Students
Taking a Leap
Across the World!

滞在国: イギリス (ロンドン)



最終所属コース: 2018年 ES350 現学年(現地校): 中学3年

J PREPで学んだことで役立ったこと

授業では発言する機会が多く、その場で考え自分の意見を英語で述べる力がつきました。また絵などを多く使う授業は、とても楽しく、いつも集中して受けることができました。これはディスカッション形式の授業が多いイギリスでも役に立っています。ライティングでは、添削も丁寧にしていただき、先生から戻ってくるのが楽しみでした。J PREPに通うことができて、本当によかったです。ありがとうございました。

保護者からひと言

中学からJ PREPでお世話になりましたが、楽しい授業やインターネットを使う効率の良い内容に、息子がどんどん英語好きになっていく姿をうれしく拝見しておりました。今はイギリスの学校に通っていますが、J PREPで学んだことが自信となり、多少苦しくても頑張っているようです。

滞在国: 中国 (上海)



最終所属コース: 2018年 ES350
現学年(インターナショナルスクール): 中学2年

J PREPで学んだことで役立ったこと

普通の塾とは少し違う楽しいカリキュラムで私達の英語の4技能を最大限まで伸ばしてくれます。

◎インターナショナルスクール入学前

Skypeで面接があったのですがJ PREPでネイティブ講師の方と話したり、ビデオ教材で発音や様々な質問の応答などの練習をしてきたので、自信を持って話すことができました。

◎インターナショナルスクールに入ってから

私が一番不安だったのが授業について行けるかということだったのですが、J PREPには毎回1時間以上ネイティブ講師とほとんど英語で行う授業があったので、早く慣れることが出来ました。また、インター校では成績にも影響する課題の提出が、全てパソコンで行われます。J PREPでは英作文の課題をパソコンを使用して書いて提出するので、こちらでもかなり早く慣れることができました。

J PREPは海外の学校に進学するには、最強の塾です!

滞在国: 日本 (ISAK)



最終所属コース: 2017年 ES350
現学年(インターナショナルスクール): 高校1年

J PREPで学んだことで役立ったこと

1. 授業のスタイル

日本の学校の授業と異なり円形に座り対話型で授業をしていたので実際の高校の授業で違和感なく参加できました。

2. 実践的な英語

授業の半分がネイティブの先生とのコミュニケーションだったため入学したときに臆せずコミュニケーションできました。

保護者からひと言

J PREPの先生方は素晴らしい、といつも本人が言っていました。英語力が伸びるだけでなく、多くの教養に触れられる機会があり、授業や課題を通して彼の視野は大きく広がりました。世界と繋がり、子どもの可能性が拓く場だと思います。

滞在国: アメリカ (テキサス州)



最終所属コース: 2017年 ES350
現学年(現地校): 中学3年

J PREPで学んだことで役立ったこと

Listening, Reading, Speaking, Writing 4技能、全てを学べることです。週1回の授業ですが、宿題をこなすには、ほぼ毎日課題に取り組まなければなりません。家に居ながらにして4技能全てに触れることになります。中でも一番力がついたと思うのは、毎回授業の始めに行われるディクテーションテストです。これは、宿題のVideoの中から10個のセンテンスを音声のみ聞きながら文章に起こすというテストです。この一つだけでも、聞く力、書く力、何度も聞くことにより文章を丸ごと覚える力、覚えることで自然と口から出る力が養われたと思います。

このように、J PREPの授業に加え、課題をこなしていくだけで、自然と英語の力が伸びていきました。斉藤先生が仰っていた4つの車輪のように、4技能全てが同時に回り始めると英語の力は飛躍的に伸びるんだと実感しました。

説明会参加のお申し込みはインターネットからどうぞ

SEARCH

jprep



目指すなら世界の頂点



J PREP

斉藤塾

Phone:050-6861-5155 Email: juku@jprep.jp

J PREP 斉藤塾 渋谷校



J PREP 斉藤塾 自由が丘校



<https://jprep.jp/>

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-15-5 J PLAZA
〒158-0083 東京都世田谷区奥沢5-26-4